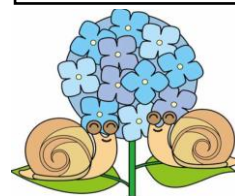


飛翔

発行責任者
平塚MAC
今込 祐弘



学会 荒井寿一コレクション 『川瀬巴水展』を観る

年一回の美術鑑賞会

今年には平塚市美術館開館30周年記念として、平塚在住のコレクター荒井寿一さんの収集品による『川瀬巴水展』を、5月22日、会員

19名が鑑賞しました。

川瀬巴水(一八八三〜一九五七)は、大正から昭和にかけての約40年にわたって日本各地を写生旅行し、その地に暮らす人々の生活や四季折々の風景をもとに、詩情豊かな版画を約六五〇点制作しました。

版画は、まず絵師(版画家)の巴水が水彩画で下絵を描きます。それを彫師が版木に彫り、摺師が摺って完成するという3人の共同作業です。

展覧会の作品は、制作順に飾られていて、最初は処女作の「塩原三部作」(大正7年)です。彼は幼児期は虚弱

で、よく塩原の叔母夫婦に預けられていたので、慣れ

親しんだ場所を選びました。その後、大正8年から9年にかけて、東北、房州、金沢を旅行し、「旅みやげ第一集」(16作品)を制作します。

以下、「東京十二題」(12作品)、「旅みやげ第二集」(28作品)、「日本風景選集」(6作品)、「旅みやげ第三集」(26作品)、「東京二十景」(20作品)、と連作が続きます。

神奈川の風景作品集

「東海道風景選集」(26作品)の中には、地元平塚の「馬入川」がありました。富士山を背景に小舟が一艘、二人を乗せて長閑に浮かん

でました。続いて、「日本風景集東日本編」(24作品)

「日本風景集」(24作品)、現在の元箱根「山のホテル」の庭つづじを描いた「元箱根見南山荘風景集」(6作品)などがありました。

手づくりの鑑賞会

会場の最後には、本や雑誌、カレンダーや絵はがき等の作品が多数並んでいま

す。

1時間弱の時間だったのでしようか。コロナ禍のために美術館学芸員による作品説明(ギャラリートーク)ができなかったため、学習会世話人は手づくりのパンフレットを用意、配布し、会員がそれを見ながら三々五々楽しく鑑賞し、流れ解散となりました。

学習会担当

大野 耕一 記

パークゴルフの会

たま 球・タマ

ホールインワンでした

私がパークゴルフを始めた時は、ボールが大きく、パターヘッドもそれなりに大きい為、自分の思っている方向や遠くへ飛ばすことが難しく、他の人の打ち方を参考にさせてもらったことを覚えています。

最初は強く打ち過ぎて、すぐOBになり、なかなかスコアが纏まりませんでした。そんな私が一昨年と昨年



一回づつホールインワンを達成することができました。一昨年は忘れましたが、昨年は9番(彦星コース)ホー

7月5日 (月)	パークゴルフの会
7月8日 (木)	パソコン勉強会
7月12日 (月)	パークゴルフの会
7月22日 (木)	パソコン勉強会
7月26日 (月)	パークゴルフの会
7月 2日、 9日、 16日、 30日 (金)	囲碁を楽しむ会
※6月21日	パークゴルフの会は中止

ルの真つすぐなショートだと思えます。この時はゴルフでいうところの「頭を残してフォロウを真つすぐ長く伸ばす」感じで打てた気がします。入った時はとても嬉しく「やったー!」このパークゴルフは誰でも気軽に参加でき、楽しめるスポーツ・遊びだと思います。これからも皆さんと一緒にエンジョイ、球・タマホールインワンを目指します。

森 勉 記

次号の発行は

7月15日です